

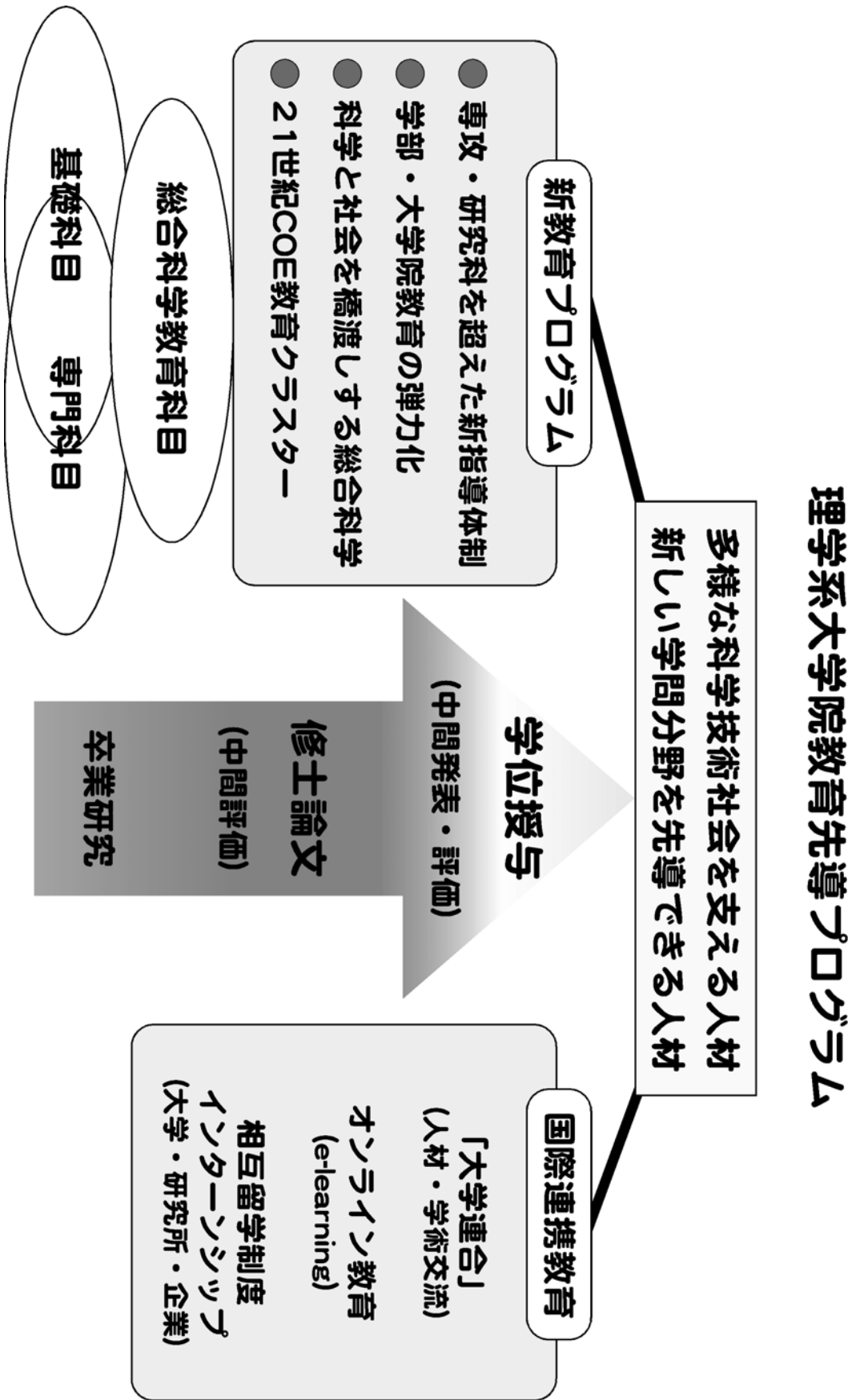
平成17年度「魅力ある大学院教育」イニシアティブ 教育プログラム及び審査結果の概要

◇「1.申請分野(系)」～「6.履修プロセスの概念図」:大学からの計画調書(平成17年7月現在)を抜粋

機 関 名	東京大学	整理番号	b011
1. 申請分野(系)	理工農系		
2. 教育プログラムの名称	理学系大学院教育先導プログラム		
3. 関連研究分野(分科) (細目・キーワード)	主なものを左から順番に記入(3つ以内) 基礎化学、物理学、生物科学		
	主なものを左から順番に記入(5つ以内) (物理化学、素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理、進化生物学)		
4. 研究科・専攻名 及び研究科長名 ([]書きで課程区分を記入、 複数の専攻で申請する場合は、 全ての研究科・専攻を記入)	(主たる研究科・専攻名) 理学系研究科・化学専攻[博士前期課程] 理学系研究科・化学専攻[博士後期課程]	<u>研究科長(取組代表者)の氏名</u> 岩澤 康裕	
	(その他関連する研究科・専攻名) 理学系研究科・物理学専攻[博士前期課程]、理学系研究科・物理学専攻[博士後期課程] 理学系研究科・天文学専攻[博士前期課程]、理学系研究科・天文学専攻[博士後期課程] 理学系研究科・地球惑星科学専攻[博士前期課程]、理学系研究科・地球惑星科学専攻[博士後期課程] 理学系研究科・生物化学専攻[博士前期課程]、理学系研究科・生物化学専攻[博士後期課程] 理学系研究科・生物科学専攻[博士前期課程]、理学系研究科・生物科学専攻[博士後期課程]		
5. 本事業の全体像			
5-(1) 本事業の大学全体としての位置付け(教育研究活動の充実を図るための支援・措置について)			
<p>東京大学は、世界のリーディング・ユニヴァーシティとして、大学院教育において「多様な専門分野に展開する研究科、附置研究所等を有する総合大学の特性を活かし、研究者および高度専門職業人の養成のために広範な高度専門教育システムを実現する」(東京大学憲章)ことを使命とし、中期目標・中期計画においては、「未踏の領域に果敢に挑戦する開拓者精神に富んだ国際的に活躍できる研究者および社会の先頭にたつ人材の養成」を大学院教育の目標に掲げている。東京大学は、こうした観点から、今回の「魅力ある大学院教育」イニシアティブを、①新しい知の統合や学際的学融合的な新分野の創成とその大学院教育への還元、②研究の高度化と高度職業人養成、社会的ニーズに応じた高度の実践力をもった人材養成との結合、③研究と教育の国際化のいっそうの促進、④大学院教育における学生の能動性のいっそうの発揮、などの努力に飛躍をもたらす機会と位置づけている。本プログラムの実施をサポートする全学的施策を講ずる他、2年間のプログラム終了後も、当該研究科・専攻の自主的な努力に加え、全学的なレビューを経て大学としても資源を投入するなどの努力を集中して継続することをめざす。</p>			

機 関 名	東京大学	整理番号	b011
<p>5-(2) これまでの教育研究活動の状況(現在まで行ってきた教育取組について)</p> <p>理学系研究科は、理学に関する教育・研究活動を継続的に行い、最先端の知の創造と継承を重要な使命としている。これまで長期間にわたり、次世代を担う若手研究者に理学の理念と方法論を教授し、世界に通用する学位取得者を数多く輩出し、全国大学等の研究者・教育者の育成にあたってきた。本研究科は、グローバル化する社会の中で、これらの教育・研究成果を広く社会に向けて発信公開することにより、文化としての理学を普及してきた。</p> <p>理学系研究科では、学位授与へと導く体系的な教育プログラムを重視しそれを適切に反映した大学院入試制度の改革に取り組んできた。最近では理学系研究科(6専攻)すべての専攻が21世紀COEプログラムに採用され、博士後期課程における大学院学生を対象として、国際的に活躍できる若手研究者育成を目的として新教育研究プログラムを実質化・強化してきた。</p>			
<p>5-(3) 魅力ある大学院教育への取組・計画(大学院教育の実質化(教育の課程の組織的展開の強化)のための具体的な教育取組及び意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画について)</p> <p>大学院教育の実質化を図るために、以下の新教育プログラムを企画・実施する。</p> <p>(1) <u>専攻/研究科を超えた教育プログラム、および大学学部と大学院教育の弾力化</u></p> <p>専攻/研究科を超えた複数教員による新指導制度の導入を検討し、学際分野・新領域展開にも対応できる多面的な大学院教育を行う。学部学生の専門性の高い大学院講義の早期受講や、大学院生の広い研究分野の基礎知識獲得のための学部講義受講を行えるよう、学部大学院共通講義を拡充する。</p> <p>(2) <u>多様な視点に答えうる総合科学教育講座の開設</u></p> <p>科学コミュニケーション、科学倫理、科学史等の専門家を招聘し、科学が社会で果してきた役割や将来の関わり、研究・企画マネジメント能力の教育を重視した総合科学教育講座を開設する。</p> <p>(3) <u>21世紀COEプログラムを核とした大学院教育クラスター形成</u></p> <p>現代科学の重要テーマを設定して、理学系COE間を有機的に連携させた教育体制を整える。また、研究面の連携体制を展開し、学生に新課題探求や講義演習指導の機会を与える。外国招聘教員や先端企業研究者による講義、外国人講師による科学英語演習を通じて、国際性豊かな若手を養成する。</p> <p>(4) <u>海外著名大学とのオンライン教育(e-learning)(国際連携教育プログラム)</u></p> <p>海外著名大学とのオンライン教育を通じて国際レベルの教育プログラムを展開する。これと関連して、来年1月からの「大学連合」(世界8ヶ国10大学が参画予定)を活用し、教員・学生交流、研究協力、ダブルメジャー等を通じて、世界的な教育研究の展開を図る。また、既にCOEプログラムでも一部実施されている外国招聘教員の集中講義についても、それと連携をとりさらに充実させる。</p> <p>(5) <u>教員のための新しい教育指導法の模索</u></p> <p>大学院教育の向上を目的とし、教員の指導懇談会を定期的に行う。この懇談会と本年度開設された学生支援室との連携を図り、教育指導法について院生・教職員が協調できる体制を整備する。</p>			

6. 履修プロセスの概念図



機 関 名	東京大学	整理番号	b011
<p data-bbox="165 199 588 232"><審査結果の概要及び採択理由></p> <p data-bbox="165 295 1428 472">「魅力ある大学院教育」イニシアティブは、現代社会の新たなニーズに応えられる創造性豊かな若手研究者の養成機能の強化を図るため、大学院における意欲的かつ独創的な研究者養成に関する教育取組に対し重点的な支援を行うことにより、大学院教育の実質化（教育の課程の組織的な展開の強化）を推進することを目的としています。</p> <p data-bbox="189 488 491 521">本事業の趣旨に照らし、</p> <p data-bbox="189 535 1428 613">①大学院教育の実質化のための具体的な教育取組の方策が確立又は今後展開されることが期待できるものとなっているか</p> <p data-bbox="189 629 1225 663">②意欲的・独創的な教育プログラムへの発展的展開のための計画となっているか</p> <p data-bbox="165 678 1428 855">の2つの視点に基づき審査を行った結果、当該教育プログラムに係る所見は、大学院教育の実質化のための各項目の方策が、優れており、期待できるとともに、教育プログラムが事業の趣旨に適合しており、その実現性、一定の成果と今後の展開の面も期待できると判断され、採択となりました。なお、特に優れた点、改善を要する点等については、以下の点があげられます。</p> <p data-bbox="177 916 633 949">〔特に優れた点、改善を要する点等〕</p> <ul data-bbox="172 965 1414 1335" style="list-style-type: none"> <li data-bbox="172 965 1414 1285">・ 「21世紀COEプログラム」による、これまでの充実した専門教育を基に、専攻の枠を超えた大学院教育クラスターを形成し、大学院教育における先導的役割を果たそうとするプログラムである。特に、学生が自ら研究課題を設定した上で、一定の権限と責任を持って活動する場を提供することにより、自立した創造性豊かな若手研究者を養成するプログラムの成果が期待される。また、研究・企画マネジメント能力の育成を重視した教育、専攻を超えた複数指導教員体制、国際性を育てる教育、国内外の著名大学と連携したオンライン教育の整備など、いくつかの優れた試みが提案されており、その成果が期待される。 <li data-bbox="172 1301 1378 1335">・ 研究科全体として、組織的に教育プログラムを推進するための具体的方策の検討が望まれる。 			